

フィリピン中部台風支援 2013 Vol.1

報道関係各位

2013年11月13日

民間災害支援団体「CIVIC FORCE」 本日、静岡県袋井市の倉庫から エマージェンシーテント 960 張を被災地へ

フィリピンのパートナーNPO「CDRC」物資配布開始

11月8日にフィリピン中部を通過した大型台風30号の影響で死者・行方不明者1万人以上の甚大な被害が発生しています。大規模災害時に迅速で効果的な支援を行う民間団体「公益社団法人Civic Force（シビック・フォース）（本部：東京都千代田区、代表理事：大西 健丞）」は、発災直後から情報収集及び緊急物資の調達・配布の支援活動を開始したフィリピンのパートナー団体「CDRC (Citizens' Disaster Response Center)」と連絡を取り合い、11月11日から寄付の受付を開始したほか、緊急支援物資の配布活動を実施するため、今週15日からタガログ語を母国語とするフィリピン人スタッフら2~3人を派遣します。

また、支援活動の一環で、本日13日、エマージェンシーテント960張を名古屋港からフィリピンのレイテ島（セブ島経由）に運びます。エマージェンシーテントとは、災害時連携協定を結ぶ静岡県袋井市の倉庫に保管している大型のテントで、床面積3m×5.5m（たたみ約10畳分）、高さ2.1m、1家族6名程度の収容が可能な大きさです。これは、国連機関が採用している仕様と同じスペック。重さ約30kgのテントは折り畳み式で、短時間で設置が可能。長期化が予想されるフィリピンの被災者の避難場所などとして活用予定です。



写真：2009年のフィリピン台風被災者支援の際、現地に100張を設置



なお、今回のフィリピン台風支援は、昨年10月にアジア5か国の災害支援団体とともに立ち上げた「アジアパシフィックアライアンス(<http://apadm.org/>)」のメンバーとして実施するもので、緊急物資の配布支援に当たっては、アライアンスメンバーであるCDRCと密に連絡を取り合い、被災地のニーズをくみ取りながら支援物資の配布活動を行います。

詳細情報は随時 HP 及び facebook、twitter で掲載していきます。

被災地での支援活動は、日本の皆さまの寄付によって成り立っています。報道関係者の皆さまには引き続きフィリピン台風被害の状況と、その支援活動にご注目いただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆Civic Force について

国内の大規模災害を支援するプロフェッショナルチームです。企業や行政、NGO との連携を活かして、かつてないスピードで質の高い支援を提供します。

東日本大震災では、平時からの準備により、大震災発生翌日から現地入りし、大規模な支援物資の調達・配送やお風呂の設営事業、離島への大型カーフェリーの就航のほか、NGO との連携し、心のケアや高齢者の健康管理、外国人支援のほか、女性に対するケアなどの活動を東北全土で展開。現在は、医療用多目的ヘリの運航や再生可能エネルギー事業、観光再生など長期的な視点で実施する「中長期復興支援」を展開しています。

◆報道関係者からの問い合わせ先:

公益社団法人 Civic Force 担当: 新海

TEL: 03-5213-4930、FAX: 03-5213-4929、Email: info@civic-force.org